

令和元年度 第1回嘉麻市総合教育会議 会議録

- 議会等の名称 令和元年度 第1回嘉麻市総合教育会議
- 開催日時 令和元年6月4日(火) 11:00～
- 開催場所 嘉麻市役所 碓井庁舎3階 委員会室3
- 公開又は非公開の別 一部非公開
- 非公開の理由 資料及び説明内容に学校名が出るため
- 出席者等
 - ・出席者 市長 赤間 幸弘 教育委員長職務代理者 豊福 眸子
教育委員 佐竹 正利 教育委員 辻田 喜美 教育委員 犬丸 隆行
教育長 木本 寛昭 副市長 白石 二郎
 - ・欠席者 なし
 - ・執行機関 総合調整監 秋吉 俊輔
企画財政課 課長 大村 輝生 課長補佐 廣谷 友紀 係長 松岡 彰
教育委員会 学校教育課長 柴田 きよみ 学校教育課参事 大森 雅明
学校教育課長補佐 赤坂 晋 学校教育課長補佐 日高 典子
学校施設課長 原岡 隆徳 生涯学習課長 末永 康洋
スポーツ推進課長 西野 浩
- 傍聴人数(会議を公開した場合のみ) なし
- 議題及び審議の主な内容
 1. 開 会
 2. 議 事
 - (1) 碓井中学校区・稲築中学校区小中一体型校施設整備基本計画(案)について
 - ・学校教育課より、碓井中学校区及び稲築中学校区小中一体型校施設整備について説明
嘉麻市学校施設整備基本計画(改訂版)及び嘉麻市小中一体型校施設整備基本方針を踏まえ、小中一体型校施設整備基本計画を策定し、優先度が高かった碓井中学区と稲築中学校区について、小中一体型校の整備を行う。
今後の予定として、6月28日～7月31日までパブリックコメントを実施、6月末～7月中旬にかけて該当校区住民に対する説明会を開催し、8月下旬に教育委員会で両地区の小中一体型校施設整備基本計画を決定後、総合教育会議及び議会に報告する。
 3. 報告
 - (2) 熊ヶ畑小学校大規模工事等進捗状況報告について
 - ・学校教育課より、熊ヶ畑小学校大規模改造工事施工中に発生した、平成30年7月6日の豪雨による校舎裏法面崩壊に伴う災害復旧工事について進捗状況を報告
災害復旧工事は8月14日を目途に完成予定だが、大規模改造工事再開後に床下の地盤沈下が発覚し追加工事を実施している。熊ヶ畑小学校での授業再開を、工程等を請負業者に確認中であるため、後日報告する。

《主な質疑及び意見等》

○工事完了時期の教育委員会の希望について

→ 学校の希望は、熊ヶ畑小学校での運動会開催だが、遅くとも今年中には子供たちを帰したいと考えている。なるべく地元の方々の負担を軽減していく形でやっていきたい。

(3) 平成30年度嘉麻市立中学校卒業生の進路報告について

・学校教育課より、平成30年度市内中学校卒業生の進路状況について報告

平成25年度以降、上級学校等への進学率は確実に上がっている。ここ数年私立高校の進学が増加しているが、これは公立高校の不合格ではなく、成績上位の生徒が特待生として進学したり、スポーツ推薦等で進学する生徒が増えていることや、高等学校等就学支援金の給付制度により私立高校へ進学しやすくなったことの影響と分析している。

今後は、許される範囲で高校入学後の追跡調査を行い、学力向上の取組に活かしていく。

《主な質疑及び意見等》

○嘉麻市の進学率は確実に上がっているが、全国や県と比べるとどうか。

→ 平成29年度の県の進学率は98%、全国が98.8%である。平成30年度の嘉麻市の進学率も98.8%なので、全国と同じである。

(4) 標準学力検査・NRT（平成31年2月実施分）並びに標準学力分析検査・フクト（平成31年4月実施分）の結果報告について

・学校教育課より、標準学力検査・NRT（平成31年2月実施分）並びに標準学力検査・フクト（平成31年4月実施分）の結果報告について説明

平成30年度末の小学校NRTの結果は、全体の標準偏差値が51.4と5年連続で標準50を超えている。学力向上策を各学校がより具体化し、取組を進めてきた成果と捉えているが、学校間・学年間・学級間の格差が見られる。

学校教育課の改善策として、基礎基本の定着に向けた習熟度別指導の徹底や、「書く活動」、「主体的・対話的で深い学び」の視点を位置づけた授業づくりを推進する。また、各学校へ学力推進指導主事を派遣し、若い教員の授業力向上に力を入れる。

中学校におけるフクトの嘉麻市全体の結果は、標準偏差値が48.8で昨年より0.5ポイント下降しているが、ここ数年は標準偏差値50に近づいている。

学年間・教科間に格差が見られるため、改善策として、思考力・表現力を問う問題を定期考査に取り入れ、授業改善に取り組ませるよう努力している。

小中共通の課題としては、家庭学習の習慣化を目指し、課題や宿題の個別化を進めるように、主幹教諭研修会・学力向上担当者研修会を通し、全校的な取組を進めている。さらに「嘉麻市土曜未来塾」における個別指導を充実させていく。

《主な質疑及び意見等》

○一部の小学校3年生の偏差値が、極端に下がっているが、何か理由があるのか。

→ 教員の指導力が原因と考える。この教員に対しては特別学力向上推進委員をつけ、授業力の改善に取り組んでいる。

(5) 平成30年度における生徒指導上の諸問題に関する実態調査について

・学校教育課より、平成30年度における生徒指導上の諸問題に関する実態調査について説明

不登校は、平成30年度において小学校合計18名、中学校合計34名、小中学校合計52名となっており、平成29年度より6名増加した。全国的には不登校出現率が年々上がる中、本市は着実に減少しているが、新設された子育て支援課をはじめ関係機関との連携を強化していく。いじめについて、小学校49件、中学校32件、合計81件と、この4年間で激増しているが、これはいじめの定義に沿って些細なことでも積極的に認知し、早期発見、早期指導した結果である。悪質ないじめによる自殺や長期欠席等の、市長に報告義務のある重大事態は発生していない。

《主な質疑及び意見等》

○LINEなどSNS使用に対する学校の指導は行われているか。

→ ここ数年トラブルが多発している。スマホ等を買与えた保護者にも責任があるので、市PTA連合会総会の中で、トラブルが起きないように家庭での指導と、基本的にはトラブルを学校に持ち込まず保護者責任で対処するようお願いしている。子ども達には学校からも指導をしている。

○LGBTに配慮した制服見直しについて検討しているか。

→ 制服については、校則で取り決めており、各学校の判断となる。嘉麻市内の中学校では、稲築中学校がブレザー型で、男女関係なく選ぶことができる。山田中学校では新しく制服を替える際に、選べるタイプに替えることを検討している。以前の調査では、ブレザー型反対の保護者が多い地域もあったが、時代も変わっており、今後もPTAと学校とで話し合いをしていく。

(6) その他について

・特になし

【配布資料】

・令和元年第1回嘉麻市総合教育会議資料

1. 嘉麻市小中一体型校施設整備について
2. 熊ヶ畑小学校大規模工事等について
3. 碓井中学校区小中一体型校施設整備基本計画（案）
4. 稲築中学校区小中一体型校施設整備基本計画（案）
5. 平成30年度 嘉麻市立中学校卒業生の進路結果について（報告）
6. 標準学力検査・NRT（平成31年2月実施分）並びに標準学力分析検査・フクト（平成31年4月実施分）の結果報告について
7. 平成30年度における生徒指導上の諸問題に関する実態調査について